

報道関係者各位

9 月 7 日(月) JICA 主催 課題別研修「障害者就労促進」で ハミューレ社員が講師を担当 ～障害者雇用の実践事例について講義～

北海道と東北地方を中心に仕事用品店「プロノ」を 57 店舗展開しているハミューレ株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：武居秀幸）は、2026 年 9 月 7 日（月）に JICA 北海道（独立行政法人国際協力機構）（札幌）が主催する課題別研修「障害者就労促進」において、企業在籍型ジョブコーチであり精神・発達障害者しごとサポーターとして活動する寺田ひかるが講師を務めました。



本研修では、企業在籍型ジョブコーチと精神発達障害しごとサポーターとして活躍する寺田ひかるが講師として、障害者の就労を促進する行動計画を実施する能力の向上を目的に、120 分の講義を実施しました。講義では、「高次脳機能障害」の基礎知識をはじめ、当社が障害者雇用を始めた当初の失敗事例、評価シートの活用方法、障害者雇用において大切にしている考え方などについて紹介しました。参加者からは多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

研修終了後には、「雇用時の支援だけでなく、雇用後のフォローやサポートも重要であることを学んだ」といった感想が寄せられました。

当日の主な質疑応答

Q. 現場の理解はどのように得たのでしょうか。

A. 現場の理解を得るためには、現場と一緒に取り組むこと、相手の不安を理解すること、そして小さな成功体験を積み重ねていくことが重要だと考えています。

現場の理解を得るうえで大切にしてきたのは、「障害者雇用を現場任せにしないこと」です。現場にお願い

するだけではなく、一緒になって課題を考え、伴走する姿勢を持つようにしてきました。

また、理解が進まない場合には、まず相手のことを知るようになっています。障害者雇用に反対しているように見えて、実は人手不足や教育負担への不安を抱えていることも少なくありません。「何が不安なのか」「今どのような状況に置かれているのか」を聞き、一緒に解消していくことを意識しています。

さらに、障害者雇用は障がいのある方のためだけではなく、現場の教育スキル向上にもつながると考えています。業務を整理したり、わかりやすく伝えたり、一人ひとりに合わせた指導を考えたりする経験は、結果として職場全体の人材育成力を高めてくれます。

一方で、抵抗感が強い方に無理に協力をお願いすることはしていません。まずは「協力してもいいかな」と思ってくださる方と一緒に取り組み、その成功事例や現場の変化を周囲に見てもらうようになっています。実際に働く姿や現場の前向きな変化を見ることで、少しずつ理解が広がり、協力してくれる方が増えていくことも多いと感じています。



▲店舗で実務を伝えるようす

Q. 障害者雇用に関する制度は定めていますか。

A. あえて社内規程などで平等を規定してはありませんが、事前説明を徹底するとともに、評価基準として「ステップアップシート」を導入しています。

このシートでは業務習得度に応じた昇給基準を定めています。基本的には障害の有無に関わらず同じ業務を担当していただきますが、障害特性により難しい業務もあります。そのため障害者向けのステップアップシートも用意し、「8割達成で次のレベルに進む」といった形で、一人ひとりが着実に成長できる仕組みを整えています。

Q. 企業在籍型ジョブコーチと外部の就労移行支援事業所（ジョブコーチ）との役割の違いは何ですか。

A. それぞれ専門性が異なります。

就労移行支援事業所は福祉分野の専門家であり、多くの支援事例を持っています。そのため、「似たような事例はありませんか」と相談することもあります。

一方で企業在籍型ジョブコーチは、日常的に同じ職場で働いているため、本人だけでなく周囲の従業員への働きかけや職場環境の調整など、企業内での実践的な支援に強みがあります。

Q. 寺田さんが障害者雇用に関心に取り組むモチベーションは何ですか。

大きく2つあります。

1つ目は、自分自身の成長です。障害者雇用を進める中では、「なぜ自分がやらなければならないのか」といった声がかかることもあります。そのような課題に対して、どのようなアプローチをすれば協力して取り組めるのかを考えることが、自身の成長につながっています。また、前任者から「見方を変えて、真剣に楽しみな

がら取り組むことが大切」と教わったことも大きな支えになっています。

2 つ目は、障害者雇用が会社を強くすると確信していることです。

障害者雇用は単なる雇用施策ではなく、会社を強くする取り組みだと考えています。

少子高齢化が進む中で、これからの企業には「人を選ぶ力」以上に、「人を育て、活躍してもらう力」が求められます。障害者雇用に取り組むことで、一人ひとりに合わせた指導方法や業務設計を考える機会が増え、組織全体の教育力やマネジメント力が向上します。

その積み重ねが、障がいの有無に関わらず誰もが活躍できる職場づくりにつながり、結果として会社を強くしていくと確信しています。

【開催概要】

- ・研修実施主体：JICA 北海道（札幌）（独立行政法人国際協力機構北海道センター）
- ・研修受託機関：NPO 法人ディーピーアイ日本会議・一般財団法人日本国際協力センター（JICE）北海道支所
- ・日時：2026 年 9 月 7 日（月）午前 10 時 00 分から午前 12 時 00 分まで
- ・演題：障害者雇用について ～民間企業における職場適応援助の実例～
- ・会場：ハミューレ株式会社本社、プロノ札幌本店
- ・対象：JICA 北海道（札幌）、JICE 北海道支所、障害者団体等 8 カ国 8 名

【仕事用品店「プロノ」とは】

コンセプトは、「イイモノは、きっと仕事を楽しくする。」

建設・土木業や農業、水産業など厳しい環境下で働く“プロ”の仕事や暮らしが、より楽しくより快適になるような「イイモノ」を追求し提供しています。メーカーからの仕入れ商品の販売だけでなく、自社で商品の企画・開発も行い、地域や職種にあわせた様々なニーズに応えています。

【会社概要】

企業名：ハミューレ株式会社 HAMURE Co., Ltd.

本社所在地：北海道札幌市東区北 34 条東 14 丁目 1-23

代表者：代表取締役社長 武居 秀幸

資本金：8505 万 250 円

売上高：109.2 億円（2025 年 8 月期）

従業員数：602 名（2026 年 8 月 20 日現在）

事業内容：作業服・仕事用品専門店のチェーン展開、インターネット販売、卸売、商品の企画開発

ホームページ：<https://www.hamure.co.jp/>

「報道関係者からのお問い合わせ先」

ハミューレ株式会社 経営管理部広報法務課 吉田

TEL: 011-792-0441 FAX: 011-712-8277

E-mail : information@hamure.co.jp